



せんだん

【学校教育目標】自ら気づき、考え、判断し、
主体的に行動する児童の育成

第6号 令和7年8月25日 校長 松尾信広

☞ 本日始業式を行い、いよいよ2学期がスタートしました！

今朝、久しぶりの再会にわくわくしながら、子ども達を藤の木の前で出迎えました。玄関で待つ子ども達と7時28分に挨拶を交わした後は、ほかの子ども達も続々と**元氣に**登校してくれました。髪型が変わったり、日焼けをしたり、少し体が大きくなったりと、**変化や成長**を感じてとても嬉しくなりました。2学期は**運動会**があります。9月11日の代表委員会を皮切りに、学校全体が動き始めます。もちろん、**日頃の生活や学習**も大切に進めながら、**充実した教育活動**を行ってまいりたいと思いますので、今学期もどうぞよろしくお願いいたします。

☞ 「挨拶」と「優しい言葉遣い」でハッピーサイクルを！

私の親は2人で自営業をやっている状態で、親がいないときは私が会社の電話をとっていました。その関係もあって、小学2年生の頃から挨拶や言葉遣い(特に敬語)はかなり鍛えてもらいました。今考えると、有難いことだなとつくづく思います。挨拶の「**挨拶**」には心を開くという意味が、「**拶**」には心に寄り添うという意味があるそうです。実際に挨拶を交わしていると、**心通わせる**ための最初のきっかけが挨拶だったということはよくあります。

今日の始業式で、その「**挨拶**」について話をしました。その中で、「挨拶はそれぞれに意味があってどれも素晴らしいのですが、最強の挨拶は『**ありがとう**』だと思います。」と話しました。また、「どれだけ『**ありがとう**』が響き合っているかで、その学級や学校の良さがわかります。」とも話しました。**感謝**の気持ちを伝えたいような**思いやり**のある行動が、その集団の中で行われているからです。

また続けて、「**言葉の木**」の話をしました。「この『**言葉の木**』はみんなの心の

言葉の木



中であって、よく使う言葉は大きく育ち、使わない言葉は枯れていきます。みんなの心には今、どんな言葉が育っていますか？」という問いかけを、1学期の終業式でしていました。日頃の生活で使っている言葉を振り返り、周りの人と**仲良く**生活していくための言葉を心の中で育てていこうと呼びかけました。是非ご家庭でも、お子さんの言葉遣いについて一緒に**振り返って**いただき、褒めたり励まし

したりしていただきたいと思います。2学期も「**挨拶**」と「**優しい言葉遣い**」で、**ハッピーサイクル**が回る学校にしていきたいと思っています。

☞ まだまだ暑い！熱中症対策を引き続きよろしくお願いします！

暦の上では秋ですが、ここ数年、9月に秋を感じることが少なくなってきたように思います。佐賀地方気象台によりますと、今週も**最高気温は33～34℃**くらいで推移し、熱中症予防情報サイトでも「**暑さ指数：危険**」が予想されています。引き続き、暑さ対策として、①**十分な睡眠**、②**朝ご飯**、③**多めのお茶**、④**帽子の着用**、⑤**汗拭き用タオル・ハンカチ**をお願いします。なお、**マスク着用**については、熱中症のリスクが高まるという指摘もありますので**注意が必要です**。また、シャツをズボンやスカートに入れることで体に熱がこもりやすくなるので、**シャツアウト**できる服装もご検討ください。体育時についても、暑い季節にはシャツアウトを基本にしていきたいと思っています。